

作成日：西暦 2026 年 3 月 31 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：脳卒中患者の IAD の発生と排尿自立の関連 横断研究を用いた二次解析

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2021 年 9 月から 2022 年 12 月にかけて当院において実施された「脳卒中患者における失禁関連皮膚炎(IAD)の有病率 および IAD 発生リスク因子の推定:横断研究」に参加された方

2. 研究目的・方法・研究期間

先行研究によると脳卒中患者 53.9%に失禁関連皮膚炎が認められたとされている。脳卒中患者における IAD のリスク因子を明確化することで、早期予測・予防介入の指標を構築し、皮膚障害の減少と QOL 向上につながる意義があると考えられます。そのため脳卒中患者における失禁関連皮膚炎と ADL 自立度、排尿自立度、脳卒中の病型との関連を明らかにする目的としています。

2021 年 9 月から 2022 年 12 月にかけて当院において実施された「脳卒中患者における失禁関連皮膚炎(IAD)の有病率 および IAD 発生リスク因子の推定:横断研究」で得られた情報や電子カルテに記載されている看護記録や介護記録、診療記録などから分析を行うものです。

研究期間は倫理審査承認を受けてから 2031 年 3 月 31 日を予定しています。

[この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。](#)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、主疾病名、BMI、糖尿病の有無、麻痺、尿路感染症の有無、併存疾患（脳血管障害・高血圧・心臓疾患・認知症）、推定起炎菌、尿道カテーテルの留置日・抜去日、Alb、CRP、ADL、抗生剤の使用、抗生剤の名称、アトピー性皮膚炎、褥瘡の既往

(仙骨・尾骨)、排尿自立スコア、下部尿路機能スコア、FIM、看護記録、介護記録、療
法士記録、診療記録など

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 社会実装看護創成研究センター・保健衛生学部

教授 須釜 淳子

藤田医科大学 社会実装看護創成研究センター・保健衛生学部

准教授 光田 益士

藤田医科大学大学院保健学研究科看護学領域成人・老年看護学分野

修士課程 小林 南菜子

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者
の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先
までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利
益が生じることはありません。

オプトアウトの受付期間は2026年9月30日までとなっております。これ以降のお申し
出につきましては、すでに統計処理や集計が完了しているため、情報の抽出・削除ができな
い可能性がございます。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範
囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学社会実装看護創成研究センター・保健衛生学部

教授 須釜淳子

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2574

E-mail: junko.sugama@fujita-hu.ac.jp

藤田医科大学大学院保健学研究科看護学領域成人・老年看護学分野

修士課程 小林南菜子

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2574

E-mail : 82025114@fujita-hu.ac.jp